

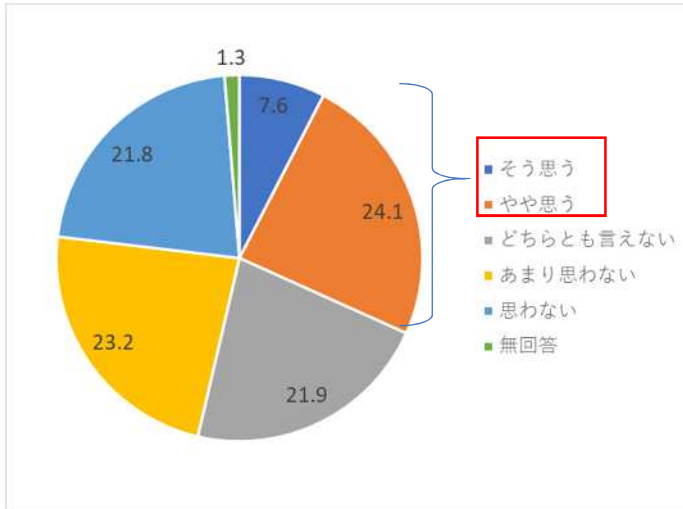
資料 1

「宇美町地域公共交通計画」の目標達成に向けた施策・事業の取組状況について（令和6年度）

目標	施策	事業	取組状況
目標 1 持続可能な公共交通体系を確立させる	施策 1 JR＋西鉄幹線系統＋のるーと宇美＋地域輸送資源による公共交通体系の構築 計画 55～58 頁	事業 1－1) 西鉄バスの宇美駅への乗り入れ	10月1日宇美太宰府線[4－1]の乗り入れ開始
		事業 1－3) 「のるーと宇美」の継続的なサービス改善	毎月、運行事業者・運行支援事業者・町で定例会を開催し、改善に向けた意見交換を実施。 ※令和6年度は、LINE再検索機能追加
		事業 1－4) 駅前広場の機能拡張	駅前広場の活性化のため、キッチンカー等事業者の出店を可能とする条例改正、10月1日施行。
	施策 2 運転手の確保 計画 58～59 頁	事業 2－1) 運転手募集の広報 事業 2－2) セカンドキャリア希望者の公共交通分野への就業促進	バス・タクシードライバー魅力発信イベント、バス運転体験会・合同会社説明会についてホームページで周知
事業 2－3) JR香椎線の自動運転化の推進		継続実施	
目標 2 公共交通をもっと使いやすくする	施策 3 交通結節点の待合環境の改善	事業 3－1) JR宇美駅の待合環境の向上	今年度から待合所を年中無休にした。
目標 4 公共交通を積極的に利用する	施策 7 利用啓発 計画 67 頁	事業 7－2) 乗り方教室・アプリ教室・出前講座の開催	窓口等での使い方相談受け付け、出前講座の実施
	施策 8 他分野との連携推進 計画 68 頁	事業 8－1) 高齢者の免許返納の推進	運転免許返納者へののるーと乗車クーポン付与。

◎指標 6 公共交通機関が利用しやすいと思う町民の割合（計画 6 4 頁）

現況値 R 6 年度に実施するアンケートにより把握	→	31.7% (令和 6 年 9 月宇美町まちづくりに関する町民意識調査)
------------------------------	---	---



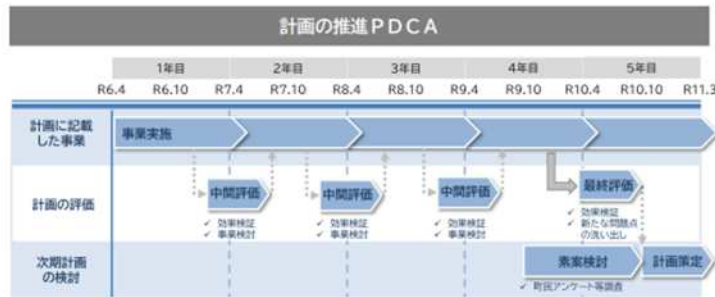
単位：%
回答者：684

◎今後のスケジュール（計画 7 1 頁参照）

令和 7 年 3 月頃 効果検証・事業検討

6-3. 計画の評価方法

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していきます。事業年度の後半に事業進捗や指標のモニタリングを行い、効果検証を実施するとともに、次年度の事業内容について検討を行って、効果の積み上げを図っていきます。計画4年目時点には最終評価を行い、計画 5 年目時点で次期計画策定に向けた検討を進めていきます。なお、社会情勢の変化等、計画の見直しが必要となった場合には適宜見直しを検討していきます。



■計画の目標と指標

目標	指標	単位	現状値	目標値
【目標 1】 持続的な公共交通体系を確立させる	【指標 1】 JR 宇美駅利用者数	人/日	1,649 (R3 年度)	1,910 (R10 年度)
	【指標 2】 路線バス利用者数 (JR 宇美駅・上宇美バス停)	人/日	860 (R4 年)	875 (R10 年度)
	【指標 3】 のるーと宇美利用者数	人/日	101 (R5 年度)	150 (R10 年度)
	【指標 4】 のるーと宇美収支率	%	7.5 (R5 年度)	12 (R10 年度)
	【指標 5】 タクシー運転手数 (法人 2 社)	人	53 (R5 年度)	53 (R10 年度)
【目標 2】 もっと公共交通を使いやすくする	【指標 6】 公共交通機関が利用しやすいと思う町民の割合	—	R6 年度に実施するアンケートにより把握	上昇 (R10 年度)
【目標 3】 人と環境にやさしい交通体系を構築する	【指標 7】 環境配慮型車両の導入台数	台	— (R4 年度)	7 (R10 年度)
【目標 4】 公共交通を積極的に利用する	【指標 8】 公共交通分担率	%	16 (R5 年度)	26 (R10 年度)

※上記指標に加えて、「公共交通に対する公的財政負担額」についても毎年度モニタリングを行う。